



WATER TRANSFER SHEET Support Manual

水転写シート
サポートマニュアル 転写方法



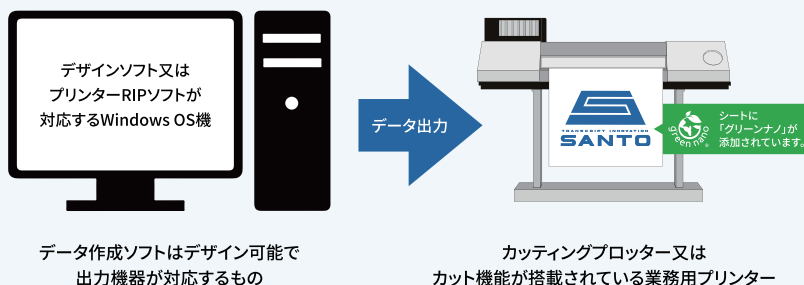
水転写シート 転写方法

対象転写シート一覧

- 水転写シート

1 データを出力しカッティング

パソコンでデザインしたデータをインクジェットプリンターで出力し、カッティングプロッター又はカット機能が搭載されている業務用プリンターでカッティングする。



カットデータの加工方法

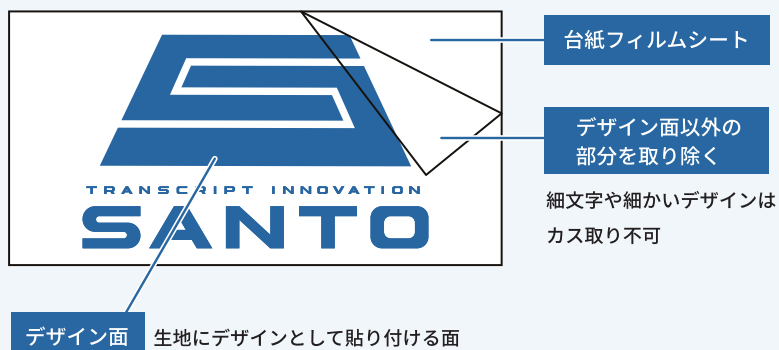


カッティング出力前チェック

- ① カット刃の刃圧チェック(カットテストを行ってください)
- ② 原点位置の設定 (ベースポイントスイッチで固定)
- ③ 転写シートに歪みが無いか確認してください

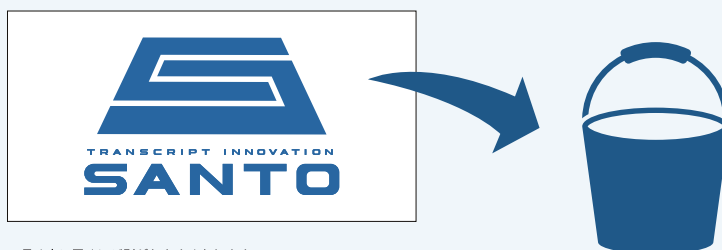
2 シートのカス取り

PETフィルムからデザイン面以外の部分を取り除く



3 水に浸す

水転写シートで作成した転写マークを台紙ごと水に浸します。
20～30秒で台紙から離れ貼ることができる状態になります。



4 転写位置の決定

マークを台紙から1～2cmずらし、
台紙ごと施工対象にあてがい、位置決めをします。

■ 実際の転写位置の決定の例



5 水を取る

スポンジ等でよく水を取る。作図シートが動かないように指で固定する。

■ 実際に水を取る例



スポンジ

指で固定してから作業を行う

6 乾燥させて完成



1時間ほど自然乾燥させれば完成。

クリアコーティング・熱硬化などの2次加工を施して仕上げる場合は、特に念入りに乾燥させてから行って下さい。

仕上げ(コピー、カラーレーザーなどのトナー方式は検証が必要です)

○自然乾燥

室内や摩擦のかからない場所なら、自然乾燥で十分です。

○熱硬化

熱を加えても変化しない素材なら、170℃で3分以上、加熱すれば硬化します。小物であればオープンで焼くと仕上がります。

○クリアコーティング

加熱できない素材には、クリアスプレーを吹いて仕上げます。薄く吹いて塗り重ねるとより良く仕上がります。

○耐水コーティング

壁面などのザラザラしたものには、シリコン系防水スプレーを使うと凸凹や、隙間によくしみこみます。



弊社が製造する全てのシートには、焼却時の二酸化炭素の排出を削減する「グリーンナノ」が添加されています。